

(様式1)

## 令和4年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立寺島中学校
校長名	田中 茂和

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・受検教科平均で見ると、全学年が全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況である。特に2学年に日ごろの指導の成果が表れている。</li><li>・教科ごとに学年を通して見ると、数学、英語、理科については全学年において全国平均を上回った。国語については、1学年と2学年において全国平均を上回った。</li><li>・特に2学年については、標準スコアによるカテゴリー一間の比較で見ると、多くの区分において区の平均を上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会については、最大2ポイント程度、全学年において全国平均を下回った。</li><li>・同一集団を経年比較すると、2学年、3学年ともに、昨年度に比べて全教科において標準スコアに若干の低下傾向が見られる。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・質問「あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。」の肯定率が、全学年にわたり全国を5ポイント以上、上回った。</li><li>・朝読書の効果もあり、質問「1か月に何冊くらい本を読みますか。」について、全国と等しいか全国を超える結果となった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・質問「学校の授業の予習や復習をしていますか。」を学年ごとの肯定率で見ると、1年（55.5%）に比べて、2年（44.0%）、3年（46.0%）の値が低い。</li><li>・質問「土日や祝日など、学校が休みの日は、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。」について、3年のみ、全国と同じ程度の時間、取り組んでいる。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・朝学習への取り組み状況がよく、朝学習コンテストを目標に努力する生徒が多い。</li><li>・英語検定、漢字検定、数学検定の受検希望者が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問題集など、課題の提出に対して積極性を欠く生徒が固定化している。</li><li>・家庭学習への取り組みについて、意欲に差が見られる。</li></ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 授業規律5箇条の徹底

- ・全校体制の取り組みとして定着しており、継続していく。
- ・時間に対する意識を高めるとともに、身なりを整えることで、生徒と教師相互で学習に向かう姿勢をつくる。
- ・定期的に点検期間を設け、数値化してフィードバックしている。

### (2) 定期考査に向けた全校体制での取り組み

#### ①学習計画表の作成と振り返り

- ・定期考査3週間前に範囲表を配布し、定期考査に対する心構えをさせる。
- ・学習計画表を活用し、視覚的に学習の進捗状況を確認させる。
- ・1週間ごとに振り返りを行い、直近の進捗状況を確認させる。

#### ②放課後一斉学習会の実施

- ・定期考査に向けた意識付けや、学習における疑問等の解消を目的とする。
- ・主体的な学習態度を身につけるため、質問がある生徒が参加する形式をとる。特に1年生は、定期考査への不安を解消することに役立っている。

### (3) 学習習慣の確立を目指した家庭学習の取り組み

- ・教科担当と学年担当が連携し、管理運営を行う。
- ・時期や授業進度等を考慮し、課題の分量や程度を変える。
- ・朝学習コンテストを行い、学習の成果を実感させる。

## 3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・各教科のD・E層の割合を、5%減少させる。
- ・全学年・全教科において、全国平均を上回る。
- ・全学年・全教科において、観点別正答率の評価が目標値に対して「上回っている」または「同程度」になる。